

事務事業名		地域福祉計画策定事業		会計		一般会計		事業種別		政策		開始		16		終了					
課等名		福祉課		係等名		地域福祉係															
基本計画上の位置づけ		政策		3		健やかに安心して暮らせるまちづくり		施策		33		共に支えあう地域福祉の推進									
目的	対象(誰・何を)	市内の地区										指標名及び単位		24年度数値							
	意図(どうい状態にするか)	地域住民が、地域の中の福祉課題を発見し、その解決に向けた地域福祉計画づくりに取り組む										市内の地区の数		20							
	向上させたい上位施策の成果指標	近隣で支えあいができていない市民の割合(%)																			
目標	種別	指標名及び単位										24年度計画		24年度実績		25年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)	
	成果指標	安心コール・見守り訪問の取組が行われた地区の割合 取組地区数/全地区数 %										30		35		40		50			
	定性目標																				
事業概要	<p>飯田市の地域福祉計画策定は、地域において実際に地域福祉活動が実践されることに重点を置き、地域活動に対する支援を行う。自治振興センターやまちづくり委員会と連携し、地域で実際に課題となっている事柄を取り上げ、その課題に対する対策を市、社協、まちづくり委員会、NPO法人、事業者等と検討し、課題解決の仕組みづくりに取り組む。住民同士の支えあい活動の継続、個別課題把握の積み重ねから、地域全体の課題を把握し、より大きな支え合い活動を推進する。最終的に、課題に対する地域福祉活動が積み重ねられ、それらの具体的活動を取りまとめることで地域福祉計画を策定する。</p>																				
事業内容										名称					活動指標						
24年度事業内容	<p>1 地域のつながりを再確認し、地域内の要援護者＝生活課題を持っている人や物的・人的資源の把握を推進する災害時助け合い(住民支えあい)マップの取り組みに対し、引き続き支援する。 (1)災害時助け合いマップ取り組み (2)災害時助け合いマップ取り組みへの支援 2 マップの取り組みの中で確認された支援者による要援護者に対する見守り活動を推進する。 (1)安心コール事業 (2)見守り訪問事業</p>										<p>1 (1)マップ取り組み地区数 (2)マップ事業への助成地区数 2 (1)安心コール事業取り組み地区数 (2)見守り訪問事業取り組み地区数</p>					<p>1 (1)20地区 (2)9地区 2 (1)6地区 (2)1地区</p>					
事業コスト		23年度決算額		24年度予算額		24年度決算額		25年度予算額		特定財源内訳、補足											
事業費計(千円)①		5,188		1,100		1,100		0													
国庫支出金																					
県支出金		4,988																			
起債																					
その他																					
一般財源		200		1,100		1,100		0													
人件費計(千円)②		1,430				1,430															
正規職員所要時間		400				400															
臨時職員所要時間																					
総事業費①+②		6,618		1,100		2,530		0													
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>まちづくり委員会10地区において福祉懇談会を実施し、災害時助け合いマップの取り組みについて説明することができた。マップ作成における課題について懇談することができた。</p>																				
改革改善の考え方	①問題点	災害時助け合いマップの取り組みから日頃の生活支援に繋げて、地域福祉の増進を図る必要がある。																			
	②改革提案	マップの活用・更新がなされる仕組みづくり。本来の事業と合うよう事業名の見直し。マップ作成にとどまることなく、交通弱者対策・買い物困難者対策・ゴミ出し困難者支援などを含め、地域福祉をどのように進めるか方向性を示す。																			